



いちご団地

玉造町のいちごどころとして知られる谷島部落ではいま、いちご農家のみなさんが最後のとりいれに精を出しています。

立ちならぶハウス群、いちご田はでき春でにぎわっています。

いちごつみ 前日が晴天だと収穫量がグリーンとふえ、猫の手も借りたいような最盛期には、うれしい悲鳴をあげる。

朝つゆで顔を洗う

初夏は朝明けは早い。これとあわせて、いちご農家ではつみとりに出かれます。早い人で五時前後からつみはじめる大時ごろにはあちこちの田に入が出て、いちご農家の早い一日がはじまります。

ある老人が「イヤー、毎日朝つゆで顔を洗うようなモンですワ」と話すほどです。

翌日には店頭へ

こうして朝早くからつみとられたいちごは、その日のうちに選別され、夕方には市場へと出荷します。このいちごが店頭に並ぶのは翌日の正午ごろで、主として石岡、水戸、東京へと出回ります。

いちごのさと

現在、いちごは谷島、諸井、浜八木時などで生産が行なわれ、これらの人たちが組織されている玉造いちご出荷組合の組合員は、現在三十五人ほどおり、経営面積は四・八畝で、その内訳はつぎのとおりです。

▽ハウス 一・八畝
▽路地 三畝

この三十五人の中には、ハウスをたてていちごづくりにとり組んでいる人が十五人いますが、そのうち七人が谷島の人であり、いわば谷島部落は「いちごのさと」ともいえるわけです。

有利な「ハウス」栽培

いちごの収穫期間はハウスが三月から七月まで、路地が五月中旬から六月中旬となっており、六月中旬の現在は、最後のおいこみというところだ。

いちご栽培が、このあたりに広まったのは、いまから約十年前のことですが、当時はハウスが草わけて路地栽培の方は約五年前から盛んになりました。

いちごは反当収入が十五万から二十万といわれますが、ハウスと路地ものを比較すると、収穫期間の長いハウスの方が「もうかる栽培」ということになりそうです。

収入に対して年間経費はハウスで三十万、路地で四万というのが平均といわれています。

「もうかりますか」

「まあまあですワ」

もうかる話になりましたが、ある人に「景気はどうですか」と聞くと「まあまあですワ」というはなしで、最盛期になると栽培面積二十五畝で一日の出荷額は五万円にはなるといわれます。これをとり扱った現原農協では昨年の総出荷量を調査しましたがそれによるとキロ数は、七万一千三百三十六キロ、これは金額になおすと一千九百二十六万一千円という売り上げ額になります。ことは、これを上まわり二千万円以上の売り上げが予想されます。

収穫後は「休耕田」

で奨励金を

いちごの収穫期が終わると、これまでのように耕し、田やハウスに水をいっぱい張って消毒を行ないます。その後は、来年の植付時まで、土地を休ませて肥やすわけですがここで注目したいのは、この間を米の生産調整の「休耕田」として届け、奨励金をもらうということです。ここでは米の生産調整も「二石二鳥」の役割を果たしているようです。



きょうは老人会のあつまり。
受給の日が近づき年金の話に花が
さく。
「こづかいになるので助かるワ」
「掛けといて本当によかった」



「孫に小使い銭をやれますヨ」 掛けていてよかつた10年年金

拠出制の国民年金ができてこととして十年。
待望の老令年金の支給が、ことしの五月から
はじまりました。
「10年年金」は、老令年金の特例として設け
られたもので、この人たちは、明治三十九年
生まれ。いわば第一回卒業生です。

ここで、こと
しから年金を受
ける、おじいさ
んやおばあさん
の、よろこびを
お伝えしまし
ょう。
○十年にもな
るんすね、当
時、長男が「掛
け」といって良
い」と言いまし
てね、その時は
「はーん、こづ
かいがやりにく
ないからするの
か」と、悪く
とっていただけ
です。
(派のTさん)

○はじめは百五十円の掛金が高
いと思いましたが、いま思えば良
かった。のひとこと。
(西蓮寺のNさん)
○当時百五十円の掛金も現在
では四百五十円になり、金の値
うらが違ったこと「やっぱ
ら」
(新田のNさん)

○持病のリウマチで医者にかか
っている生活なので、その医療費
が辛かったのですが、月に四千円
もらえることになるのでたすかり
ます。
(藤井のOさん)
○近所にも、同じ年配の人がお
られますが、掛けていないとい
うことで、うらやましがられてい
ます。
(羽生のYさん)

長男に感謝しなくてはなりませ
ん。
(新田のNさん)

よろこぶ顔を見るのはいいもんで
すね。
(八木崎のAさん)

全員満額(六万円) の年金を

ところで、満額の年金を受ける
ためには、加入してから十年間キ
チンと保険料を付けていなければ
なりません。

掛け金が納まっていなかった月がな
いよう確かめ、もし未納の月があ
ったら直ちに納めて満額を受けら
れるようにしてください。

また、いろいろな都合で、掛け
金の免除を受けていた人も、役場
で相談して、保険料を追納し、全
員もれなく受けられるようにしま
しょう。

(三十六年四月から四十六年三
月までの十年間の保険料は合計で
二万五千八百円)

玉造町標準小作料きまる

このほど、玉造町の標準小作料
がきまりました。
農業委員会では、標準小作料の
試算を行ない、それを玉造町小作
料協議会(会長・野原小市郎)に
標準小作料について諮問をしまし
た。
協議会ではこれを貸手代表五人
借手代表五人、学識経験者五人で
協議し答申しました。

今日は、捻木の現場、町道の舗
装工事です。
油を流して、碎石をまいて、つ
ぎはローラーの出番。
碎石をまいた松山さんからロー
ラーの中沢さんにバトンタッチ、
碎石をまいた上を、ローラーが
ゆっくりと固めてゆく、運転しな
がらさかんに汗をぬぐう。
きょうは三十度はあるだろうが
現場には、捻木の杉山区長さん
も来て作業ぶりを見守る。
さあ、もう一息だ。

さあ!! あとひと息だ



「きょうは暑いナ」という
声もローラーの轟音に消され
てしまう

農地の区分	小作料の標準額	備考
田	12,500	税務等級の1級地
〃	11,500	〃 2級地
〃	10,500	〃 3級地
〃	9,500	〃 4級地
畑	4,300	〃 1級地
〃	3,800	〃 2級地
〃	3,300	〃 3級地4級地

その答申にもとづいて五月の農業
委員会総会でつぎのとおり決定し
ましたのでお知らせします。
なお、このほど決まった小作料
は農地の賃借に対する目安ですが
これは、昭和四十五年十月一日以
降の分についてのみ適用されるも
ので注意してください。
その期日前の小作料については
小作料の最高額統制の制度が、昭
和五十五年九月三十日までつづ
きまうとの点を、まちがわな
いようおねがいます。
小作料の額は左のとおりです
が不審な点がありましたら農業委
員会事務局までお問い合わせくだ
さい。

行政相談委員に 野原小市郎さん

みなさんの中には、役所の仕事
に対して不満や疑問をお持ちのか
たがいることと思います。
玉造町では、手賀新田の野原小
市郎さんがその相談員として選ば
れました。

相談の内容は、行政全般ですが
具体的に、どんなものかわからな
いかたがいろいろ知れませんか。
たとえば、
▽補修費用がない生活苦者の老朽
家屋
▽無断で売却された小作農地
▽早すぎる私鉄バスの最終運転時
刻
▽郵便ポストが近くにない
▽小児マヒ患者を残して入院する
扶養者

○行政相談委員
野原 小市郎
電話 五五一五六四

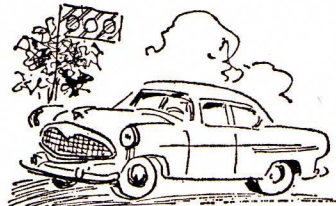
野原 小市郎
電話 五五一五六四

目に青葉... 豆画家がズラリ



○六月の中旬になると、あたり
一面がみどり。
○つゆのあい間に陽がさしたと
思ったら豆画家たちが、写生に
一生懸命です。
○小学校の五年生の図画の時間
でした。
○一人の児童の絵をのぞきこむ
と、ちょっと見た感じでは、あ
まり上手とは思えない絵で、し
かも何を画しているのかわから
ない作品だったので質問して
みました。
○「ボク、これに書いたの?」
「わかんないかなー、なんでも
いいじゃないか、フリーリングだ
モン」
○何人かの児童から同じような
返事が返ってきましたが、中に
は、青空に家、樹木を書く、い
うならば正統派の児童もあつた
ようです。
「どこ書こうかなー」なに書こう
かなー「イヤ、フリーリングで
書いておろ」

路上駐車中の車輛の
多い道路を走るとき
は、車の間からのと
び出しなどにじゅう
ぶん注意しながら走
る



全転 考え方と方法 (6)
安運

問屋前や商店街通りなど、路上
に多くの車が駐車してある場合も
多いが、このような道路を走ると
きは、それらの車の間から、子
どもなどがとび出すことを特に警
戒しなければなりません。
すなわち、駐車中の車の床下や
屋根越し、窓越しに人影に注意し
ながら、それらの車との間隔が、
車一台程度につきおおよそ時速四
〇キロメートルの速さを越えないよ
うに、すなわち間隔がその半分ぐ
らいなら時速二〇キロメートル程
度で走るのが安全です。
また、自転車や二輪車は駐車車
輛のところでは右へ出てくるから
これらと並進する場合、この
ことをじゅうぶん考慮にいれて
おくことがたいせつである。この
ようなことで、二輪車や自転車
を左側でひっかけると、初心者
に多いから特に注意を要します。
大型トラックの場合には、左後
輪で自転車などをひっかけること
が多いから、せまい道幅のときの
二輪車や自転車との並進は、極力
さけるべきです。
余裕のあるときに抜くか、追従
するよう心がけることがたいせつ
です。

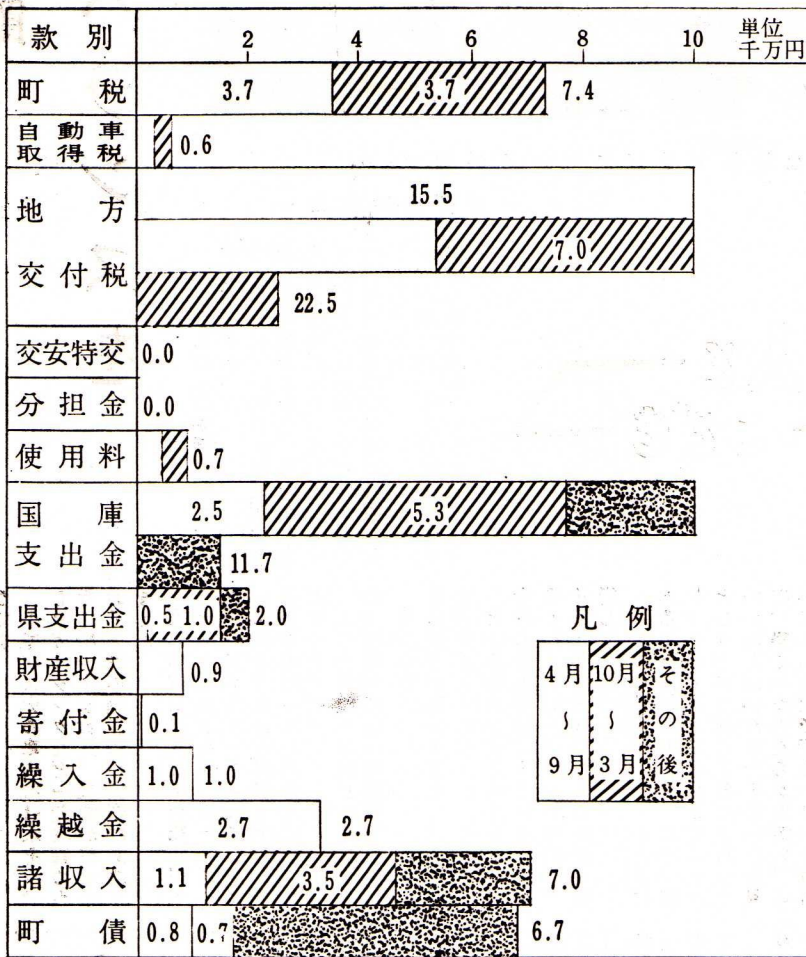
こんどの公表は、昭和四十五年
度下半期分になりますが、グラフ
で見るように健全な行政運営をし
めています。
グラフでは四月から九月まで、
十月から三月まで、その後、と三
期に分けて示してありますので、
参考にしてもらってください。
これまで、財政事情書の公表は
円グラフを用いておりましたが、
今回は棒グラフで表わしてみまし
たので、いづれどんなお金が入
って、いつ、なににお金を使った
かがわかりやすいと思います。
凡例で示す月別に注意して、町
の台所をみてください。

地方自治第243条の3の規定に基
づく「財政事情書」の作成および
公表に関する条例の定めるところ
により、昭和45年10月1日より昭
和46年3月31日までの町の財政事
情をつぎのとおり公表します。

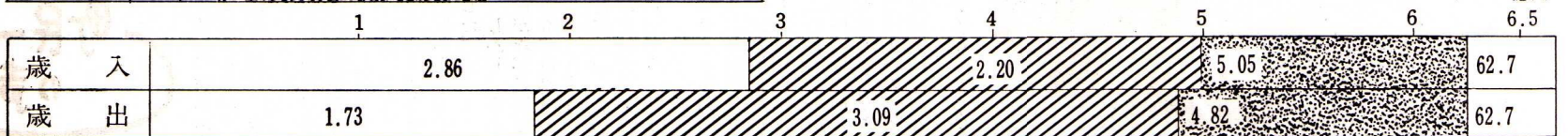
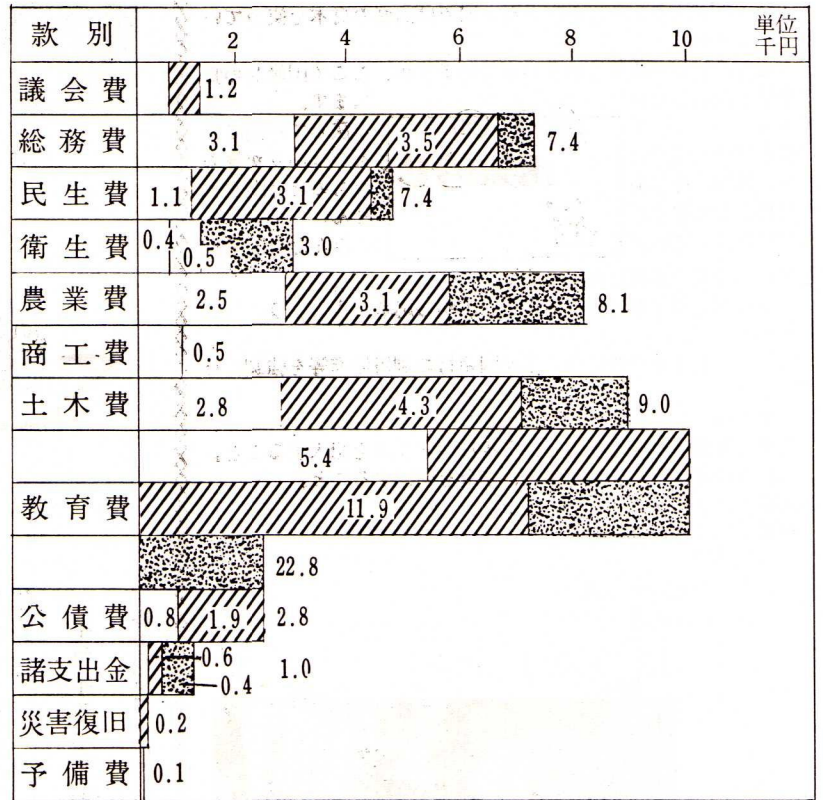
財政事情書を公表

45年度下半期

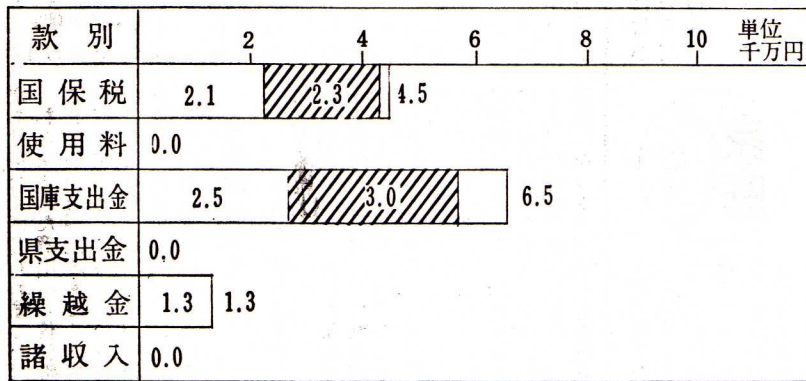
(1) 一般会計の歳入



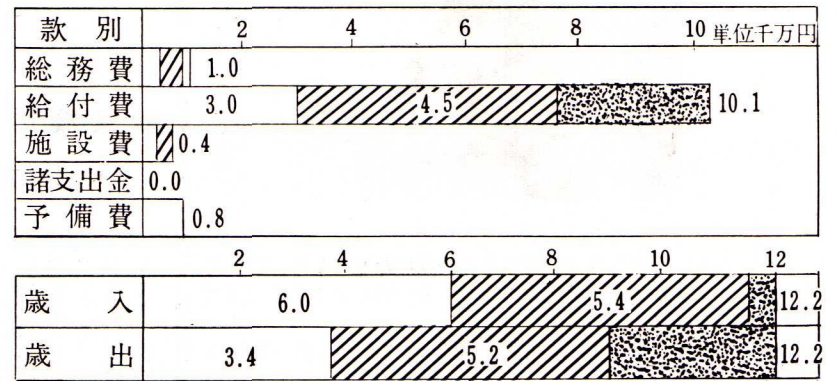
(2) 一般会計の歳出の状況



(3) 国保の歳入



(4) 国保の歳出



水道は文化水準の
バロメーター
最近、水質環境が悪化する傾向
にあるので、生活用水の確保がむ
ずかしい見込みです。
住みよい豊かな町づくりには当
然のこととして、水道が必要にな
ってきます。
前回の懇談会の結果、区長さん
からの問い合せがありました。これ
らの問い合せを中心として今回の
懇談会を進めてみましょう。
司会 挨拶はぬきに第二回め
懇談会に入りましょう。
水道計画を、どのような形で進
められるのか、という区長さんの
質問なのですが、
町長 三年計画で全町を対象
にしたいと思っています。町の人
口を三、〇〇〇人から四、
五〇〇人に給水することができ
れば三か年で事業を完了する
ことができてと考えていま
す。
昭和四十七、四十八、四十
九の三年間継続事業で実施し
たいということで県の方と事
前交渉に入っています。
B区長 なるべく早く実施す
ることが望ましい事です。が、
実施区域の決定、資金計画、
水資源など大きな仕事にな
るでしょう。計画の段階でし
ょうからアウトラインを聞か
せて下さい。
町長 簡易水道は法律で定め
られた認可事業ですから、実
施するときは、その前年に認
可を得て置く必要があります。
水質、給水地域、人口、水質、
水量について、あらかじめ認
可を得て置くことなのです。
四十七年には、玉造の市街地を
中心として、給水人口四、五〇〇
人として計画したいと思っています。
四十八、四十九年には残りの地
域を一年に四、〇〇〇人給水とし
て水源の問題と併せて解決したい
のです。
資金計画としては、総事業費と
して各年度とも一億二千万円くら
いが必要になるでしょう。いまま
での例ですと総事業費の八〇%が
補助対象事業費と認められ、この
額の四〇%の国庫補助がついてい
ます。
起債ももちろん認められますが
四千万円位の自己財源が必要にな
ります。

ぜひ実現したい簡易水道 (2)

簡易水道の普及率

全	国	80.0%
茨	県	47.3%
小	城川町	8.8%
鉾	田造町	3.5%
玉	造生町	0%
麻	堀町	1.1%
牛	堀来町	3.8%
潮	来浦村	56.0%
北	村	0%

水道計画について質疑、ご意見
は、保険衛生課に申し込んでくだ
さい。
町長 それでは、このあたり
で第二回の懇談会を終ることに
しましょう。水道計画につ
いての質疑、ご意見等は遠慮
なく申し込んでください。み
なさん本当にご苦労さまでし
た。

出島村で数年前に簡易水道を実
施した時は受益者負担として一戸
一万五千円負担したと記憶して
いますが、当時と現在では工事費
がぐらぐらものになりませんので、
一戸二万円の負担をお願いする
ようになりましょう。
B区長 良くわかりました。億や
ら千万と云うところはわかった
ような気がする程度ですが、一戸
負担が二万円位というところがよ
くわかりました。
町長 B区長さん。いま申し上げ
たのは本当のアウトラインなので
一戸二万円と決めたわけではあり
ません。二、三万円位と訂正した
いのですが、工事設計もしてない
んですから。
B区長 そうですね。他の事
は忘れてしまつて二万円だけ
憶えていて、約束が違うと後
で問題になると大変ですから
ネ。
町長 本当にそうなんです。
事業を進めるのに一番大切な
のは、みなさんに理解してい
ただくこと、そして協力して
いただくことなのです。
区長さん方にはお願いする
ことはかりで申しわけないの
ですが、
水道計画についても、地域
のかたに誤解のないよう、よ
く話し合っていたいただきたいの
です。
司会 それでは、このあたり
で第二回の懇談会を終ることに
しましょう。水道計画につ
いての質疑、ご意見等は遠慮
なく申し込んでください。み
なさん本当にご苦労さまでし
た。

